

VOL. 33

THE NEWS LETTER

2016 SUMMER

一般社団法人 日本歯科審美学会
General Incorporated Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 末瀬一彦



平成27年4月から本学会は「一般社団法人日本歯科審美学会」に生まれ変わり、1年が経過しました。昭和62年(1987年)に発足しました本学会も設立29年目を迎えています。先輩諸氏の並々ならぬご尽力によりまして、着実にステップアップし、現在会員数4,300名を有し、歯科医療関係の学会の中でも存在価値の高い学会に発展してまいりました。設立当初からの本学会の目的である「歯

科審美学の基礎ならびに臨床に関する研究の発展を期し、併せて審美歯科の普及を図る」ことを第一義として活動してまいりましたが、昨今の歯科医療を見渡せば、形態・機能の回復だけでなく、審美の維持・回復は必須であり、本学会に課せられた「審美歯科の普及」というミッションはすでに過去のものかもしれません。最近では、齲蝕や歯周疾患に罹患していなくても「変色歯や着色歯」を主訴に来院する患者も急増し、さらに「より白い歯」を求めてホワイトニングが注目されています。国民からの要望が大きい歯科医療分野でもあります。「歯科審美学」という学問体系は本来存在しない分野でしたが、最近では補綴、保存修復、歯科矯正、口腔外科など複数の専門領域を横断的にカバーする学問として位置づけられ、大学の講座・教室・診療科にも「歯科審美学室」や「審美歯科」が設置されています。学会におきましても現在、教授要綱の整備が進められ、教本作成も視野に入っているところです。さらに、本学会では年に一度の学術大会、学術セミナー、ホワイトニングセミナーをはじめ多くの講習会などの開催によって会員の研鑽の場を提供するとともに、学会認定医・認定士制度を確立し、国民に安全、安心そして信頼できる「歯科審美治療」の提供を目指しています。

歯科医療のデジタル化が進み、CAD/CAMシステムが導入され、多くの審美修復用の新素材が開発されています。平成26年4月には医療保険にまで「CAD/CAM冠」が導入され、これまで金属修復が当たり前だった保険診療にも「メタルフリー」の時代が到来です。CAD/CAMテクノロジーは、機械(デジタル)と人(アナログ)の協同作業によって最高級の補綴装置を創出することも可能ですが、一方では、適用する材料の均質性、効率性などを考えれば日本の保険医療には適切な導入であると思われます。

法人格を取得した本学会にあっては、社会に対する責任と義務を果たさなければなりません。「審美歯科」もこれまでの量から質の時代に入ったと思われます。会員相互の結束を高め、「審美歯科治療」の目的を共有しながら国民の歯科医療になお一層貢献していこうではありませんか。

第27回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系

クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 大会長 越智守生



この度、第27回日本歯科審美学会学術大会の大会長を拝命いたしました。会員数4,600名を超える有数規模の学術団体による学術大会をお世話させて頂くことは、誠に光栄に存じます。そして、北海道にとって2016年という記念すべき年に日本歯科審美学会学術大会を札幌で開催できることに感謝申し上げます。本年3月26日、北海道民宿願の北海道

新幹線が新青森・新函館北斗間で開業しました。整備新幹線計画が発表されてから42年、東京から北海道まで新幹線で繋がるという夢は現実しました。しかし、北海道民にとってこれは最初の1歩であり、全国新幹線鉄道整備法第7条に明記されている最終目的地の旭川まで路線が整備されてこの大願は成就したと言えるのです。日本歯科審美学会も2015年の一般社団法人化はマイルストーンであり、宮内修平理事長が提言されている若い会員の方々がときめきを感じるような「魅力ある学会」となっていく過程で、西洋から学び入れた審美という概念を海外の知見や先進的な内容を吸収しつつ、我が国独自の歯科審美学を確立していく時期だと思えます。

このような背景から、第27回日本歯科審美学会学術大会テーマは「歯科審美 さらなる高みを目指して」とさせて頂きました。私が北海道医療大学歯科補綴学第Ⅱ講座(現、クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野)に入局して間もない1989年、Haywoodらがホームホワイトニングを報告したことを機に、アメリカの歯科医院でホワイトニングが普及、日本では1998年に松風ハイライト、2001年にNITEホワイトエクセル(Discus dental, USA)が認可され、生活歯のホワイトニングが行われる



廣瀬由紀人実行委員長



仲西康裕準備委員長

ようになりました。歯を削ることなく、審美性を改善できるホワイトニングはMIの概念に適した治療法であり、患者の歯に対する意識の向上も期待できます。さらにはデンタルインプラントならびにCAD/CAMによるメタルフリー修復物(主にジルコニアのクラウンブリッジ)の普及拡大、接着歯学の発達、コンピューターを使用した顔貌分析と審美歯科への応用など歯科治療を支える周辺技術の進歩は日進月歩であります。先進医療に関する法律の整備が進められ国民の関心が高まっている今こそ、審美歯科から治療の限界を打ち破る新たな挑戦が望まれます。

本学術大会は、「ホワイトニング up to date」(大槻昌幸先生)をはじめ、超高齢社会の日本に必要な「義歯治療による審美歯科」(阿部二郎先生、天井久代先生)、一億層活躍社会の基軸となる働く女性の躍進のために「女性歯科医師の審美歯科」と題して橋場千織先生に審美歯科治療における矯正医の役割、また林美穂先生に歯科治療がもたらす顔貌の変化、天川由美子先生に接着歯学を活かした審美修復治療についてのシンポジウムをしていただく予定です。特別講演は、北海道医療大学歯学部長の斎藤隆史先生、UCLA教授の小川隆広先生に歯科審美医療の将来展望をしていただく予定です。教育講演は「口腔ケアによる歯科審美」(山田律子先生、村松真澄先生、渡邊紀子先生)、「審美歯科の歯科技工」(末瀬一彦先生、山田和伸先生)、「矯正治療の現在」(上地潤先生、不島健持先生)、「保存領域の教育講演：審美歯科と心美歯科？—MIの概念にもとづいた審美歯科—」(富士谷盛興先生)、「インプラントの歯科審美」(増木英郎先生、千葉豊和先生)の5つの内容を講演していただく予定です。また、宮内修平先生に理事長講演、疋田一洋先生に市民公開講座をしていただく予定です。

最後に、皆様が第27回日本歯科審美学会学術大会に参加することにより、新たな夢と希望と勇気を持ち、次のステージに進める機会にしたいと考えております。前年度学術大会の佐藤亨大会長には到底及ばない浅学菲才の私ではありますが、全力で第27回日本歯科審美学会学術大会に取り組んで参ります。皆様の力を集結することにより、大会を盛り上げて頂ければ幸いです。本学会が皆様にとって実り多いものとなりますよう、多数のご演題、ご参加のご協力を重ねてお願い申し上げます。

.....

【開催日時】 2016年8月27日(土)~28日(日)

【開催場所】 京王プラザホテル札幌
(札幌市中央区北5条西7丁目2-1)

学会登録開始日などの詳細は、学会雑誌ならびに学会ホームページ(www.jdshinbi.net/)をご覧ください。

IFED大会のご案内

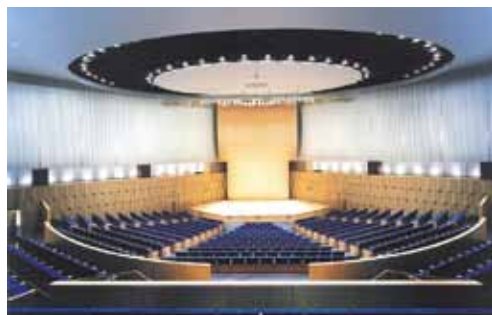
IFED 2017 Toyama (2017年IFED富山大会)のご案内

愛知学院大学歯学部保存修復学講座 教授 大会長 千田 彰



来年、2017年9月14日(木)～16日(土)に北陸、富山(富山国際会議場・大手町フォーラムおよび直接つながっているANAクラウンプラザホテル富山)で、国際歯科審美学会(連盟)の第10回世界大会が開催されます。ご存知の方も多いとは思いますが、International Federation of Esthetic Dentistry(IFED)は、日本歯科審美学会(JAED)、ヨーロッパ歯科審美学会(EAED)、米国歯科審美学会(AAED)が創始学会として、1994年にフローレンスで設立されました。この際の集会をIFEDの第1回世界大会とし、3年後の1997年に京都で第2回世界大会が開催されました。この第2回の京都大会は、IFEDの歴史の中でも最も輝かしい世界大会であり、その後の世界大会の目標、スタンダードとなりました。

以降世界大会は、ワシントン(第3回)、ソウル、ベニス、ラスベガス、リオデジャネイロ、ミュンヘン、ケープタウン(第9回)と世界各地で、いずれも成功裡に開催されてきました。そして京都大会から数えて20年の2017年に、再び日本で開催できることになりました。日本開催にあたっては、かなり熾烈な誘致合戦が、バルセロナ、イスタンブール、日本(当初は名古屋開催予定でした)の間で、オリンピック開催地誘致のように繰り広げられ、最後はイスタンブールに17対7票の決選投票に勝利して誘致に成功しました。誘致合戦の勝利の背景には、やはり「あの京都大会の成功を再び!」という、私たち日本歯科審美学会



富山国際会議場 メインホール

への期待も大いに込められているのではないのでしょうか。

当初の名古屋開催予定が、富山開催となったのは、開催予定日の変更があったためですが、いずれであっても日本開催、富山開催となったからには、皆様のご理解とご支援を頂いて、第2回の京都大会を目標に、そして京都大会をも凌ぐすばらしい大会にしたいと、組織委員会委員一同も頑張っているところです。現在協賛企業 (IFEDのCorporate Partner10社)も委員として加わった組織委員会を開き開催の概要を検討しました。今後世界各地から、そして日本からも素晴らしい講演者をお招きし、かつハンズオンセミナー、ランチョンセミナーなども含め、3日間をフルに利用する予定です。また世界各地からの講演者、参加者との交流を満喫できるよう、ウエルカムパーティー、ガラディナー、スピーカーズディナーなどのソーシャルイベントも企画します。さらに北陸は、新幹線のおかげもあり、観光ブームに湧いていますが、学会開催期間中、学会後には金沢、高山、五箇山、黒部、立山などのツアーを盛りだくさん企画します。

開催地の富山県と富山市は、このような新幹線開通の恩恵による観光客増加を目指すだけでなく、さまざまな分野における新たな発展の国際的発信地となるべく、この大会を契機として観光振興プランに「国際会議の誘致強化」を掲げるそうです。IFED 2017の開催地としての絶大かつ温かいホスピタリティーにも期待がもてるようです。

今後引き続き、大会の開催情報を皆さんにお伝えして行きますので、まず『2017年9月14日(木)から17日(日)(17日は日本歯科審美学会第28回大会開催)』と皆さんの予定表に記入頂くようお願いいたします。



富山城、国際会議場、立山連峰

AACD参加報告

AACDに参加して北米の歯科を体感してみませんか？

長崎県平戸市開業 高崎智也

私は、2011年ボストン大会から毎年参加しています。全行程が4日間になりますので、日本からの参加となると1週間前後休まなくてはなりません。そうすると一歯科医師で開業している場合、休診日数の事を考えると参加を躊躇してしまうのが現状だと思います。そんな中、私がどうして毎年参加しているのか、参加するにはどのようなステップを進めれば良いかを今回ご紹介したいと思います。

AACDの年間費は\$495と日本の学会からすると、かなり高額です。しかし、実はその中にDentalXP(\$399)といってオンラインで様々な歯科のプレゼンを学べる教材が付いていますのでお得です。自宅で世界の著名な歯科医師のプレゼンを学べます。もちろん英語学習にも役立ちます。学会参加費も高額で、非会員の場合は\$2,320となります。会員の場合は\$1,945さらに登録早割、そして日本歯科審美学会(JAED)は提携しているので、さらに割引があります。登録前に、JAED事務局に問い合わせして下さい。参加費には、ウェルカムレセプション、朝食、昼食が全て含まれています。今年のトロントでの大会は、最終日に行われるGalaパーティーも含まれていました。

審美は様々な歯科治療の複合から生まれると考えています。参加する学会としてAACDを選択したのは、一般臨床医として学ぶのに最適な機会と判断したからです。実際参加してみると、



多岐に渡るコースが設定されています。ハンズオンコースで手を動かせるので、時差ぼけも安心です。日本には入ってきていない最新の材料のコースもありますので、自分の目でそれらを確かめられるので楽しいです。

最後に英語サイトでの登録なども最初は非常に高い壁となります。そんな時に役立つのが、Google Chromeです。自動翻訳してくれるので、普段使わない英単語も大丈夫です。学会中もFreeのWifiが使えるので、解らない単語があれば、その場でGoogle翻訳を使って調べられます。昔は、大きい辞書を一回一回調べていた事を考えると、英語圏に行く敷居はかなり低くなっています。来年の2017年は、ラスベガスでの開催です。この記事を読んで下さり参加してみよう！と思った方、ラスベガスでお会いしましょう！



セミナー報告

平成28年度 第1回セミナー開催報告

昭和大学歯科病院歯科衛生室 歯科衛生士 酒井麻里



平成28年4月10日(日)に、富山県歯科医療総合センターで平成28年度第1回セミナーが開催されました。今回は、「これからの歯科審美を語る」をテーマに8名の先生にお話していただきました。

午前中は、理事長の宮内修平先生による「一般者社団法人日本歯科審美学会の活動について」のお話から始まり、続いて岡崎考亮先生(柳町岡崎歯科・富山市)から「審美、機能回復のための咬合診断」、加藤大樹先生(医療法人社団加藤歯科・金沢市)から「Anterior Restoration -Forever 20-」、そして日本歯科審美学会会員の中山大蔵先生(中山歯科医院・金沢市)からは「審美性と機能性を考慮した臼歯部コンポジットレジン修復」をご講演いただきました。

午後は、日本歯科審美学会認定医である木林博之先生(きばやし歯科医院・京都府長岡京市)より「The Symmetric Central Incisors ~歯肉縁下カントゥアに対する臨床的配慮について~」、そして、今回のセミナー開催にあたり、多大なるご協力をいただいた有志会代表の小林祐之先生(しのぶ歯科インプラントセンター・富山市)と同医院で勤務されていた片折浩紀先生(KU-GA DENTAL LAB・富山市)のお二人から「インプラント周囲組織の診断とマネジメント」、樋口常保先生(Labo Ima・富山県滑川市)から「オールセラミックマテリアルの選択-Full zirconiaの優位性-」、最後に日本歯科審美学会セミナー委員であり認定医の北原信也先生(TEAM東京ノプレストラティブデンタルオフィス・東京都)から「歯科修復治療における最近の潮流」を講演していただきました。

午前、午後ともに講演後のディスカッションでは、多くの質問や活発な意見交換がなされ、とても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。今後もこのような充実したセミナーをお届けできるよう、セミナー委員会では有益な企画を考えておりますので、どうぞ奮ってご参加ください。



委員会報告

歯科審美編集委員会

会員の皆様におかれましては、「歯科審美」の発行にご協力をいただき感謝いたしております。お陰様で今年3月に、「歯科審美」第28巻第2号を発行することができました。この号では、原著1編、症例報告5編（うち認定医プレゼンテーション・長期症例4編）および特集2編、合計8編の論文を掲載しております。原著論文は、英語論文ですが、顔面情報を取得すべき症例について正中線の変位量や咬合平面の傾斜度から検討しております。審美歯科治療を行うに際して参考になる内容ですので、ご一読ください。この号の症例報告では、認定医プレゼンテーション・長期症例がいつもより多く掲載されました。本学会認定医制度施行細則第7条に「認定医審査に合格したものは、直ちにプレゼンテーションを行った長期症例について歯科審美に臨床論文として投稿しなければならない」という条文があります。まだ投稿を済まされていない認定医の皆様は投稿義務がございますので、ご投稿のほどをよろしくお願い申し上げます。特集では、近年、矯正歯科治療で新たな固定源として注目されている「歯科矯正用アンカースクリュー」をテーマに取り上げ、アンカースクリューを併用した矯正歯科治療についてガミースマイルの改善に焦点を当て、2名の先生から症例を通してご解説を戴きました。紹介文にも記載されていますように、矯正臨床を専門としない読者の皆様におかれましてもご一読いただき、日常臨床にお役立ていただきたいと思います。

昨今、学会発表や論文掲載において利益相反(COI)の申告が必要になっております。この件については各学会で対応しているのが現状です。本学会におきましても「歯科審美」にご投稿いただく際にCOI自己申告書(学会ホームページからダウンロードして使用)の提出を義務付ける予定でおります。論文投稿時におけるCOI自己申告の義務化に伴い、投稿規定を変更することになりました。現在のところ変更案を検討中で、次々号あたりから変更された投稿規定が適応されることになると思います。この件に関する詳しい旨は、ホームページ上でお知らせしますのでご留意ください。

「歯科審美」は年2回発行されておりますが、投稿数の減少傾向が止まらず論文掲載の確保に四苦八苦しております。これからも症例報告、臨床のヒント等臨床論文の掲載を重視していきたいと考えております。認定医、認定士の先生方をはじめ、会員皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会 (JAED) は、韓国 (Korean Academy of Esthetic Dentistry) およびアメリカ (American Academy of Cosmetic Dentistry) の学会と姉妹協定を結んでおり、演者や論文の交流を進めています。2015年12月にソウルで開催されたKAED秋期学会には、演者として宮内修平理事長を派遣し、日本と韓国の両審美学会の交流を深めました。また、2016年4月にトロントで開催されたAACD年次大会には演者として山田和信先生を派遣しました。8月のJAED札幌大会では、KAEDおよびAACDから演者を招いて講演いただく予定です。

JAEDIは、IFED (International Federation of Esthetic Dentistry) およびAAAD (Asian Academy of Aesthetic Dentistry) に組織加入しています。このうちIFEDの理事会と総会が2016年2月にシカゴで開催されました。ここでは、動画を使って2017年に富山で開催する第10回IFED大会 (千田 彰大会長) のプロモーションを行いました。

審美関連の国際学会情報は、JAEDホームページに掲載いたします。また、KAED秋季大会やAACD年次大会などの写真は、日本歯科審美学会の公式フェイスブックページにも掲載しております。ぜひご覧ください。よろしくお願いたします。

(委員長 中村隆志)



宮内理事長講演 (ソウル)



KAED Ryu会長 (当時)と



IFED総会 (シカゴ)

社会・保険委員会

すでに皆さまご存知のように、平成28年度歯科診療報酬改定で多くの新規取組項目がありました。日本歯科医学会分科会から62件の医療技術評価提案書が提出され、その50%となる31件が新規取組されました。この件数は近年にない多さです。本学会からは、前回のニュースレターで報告しましたように、日本補綴歯科学会と共同提案として4件の医療技術評価提案書を提出していましたが、

- 1.ブリッジ支台装置としての第一小臼歯レジン前装金属冠
- 2.シェードテイキング
- 3.大臼歯部CAD/CAM冠(金属アレルギーの場合のみ)

の3件が新規取組されました。このような新規項目が保険診療の中でより治療効果を発揮し、患者さんの満足度を高めることに繋がることを期待したいと思います。

これもご存じかとはおもいますが、それぞれ算定要件がありますので、ご確認ください。今後疑義解釈等でさらに算定要件が明確になるものと思われまますので、必要に応じてお知らせいたします。(委員長 藤澤政紀)

.....

認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査および新規申請者については書類審査に加えてケースプレゼンテーションの審査を行っています。2段階認定制度の新設あるいは認定取得後のフォローアップに関しても今後の課題としており、関連委員会とともに鋭意検討を進める予定としております。

以下に、平成27年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

【認定審議会の実施状況】

- 1.平成27年6月18日 平成27年度 第1回認定医・認定士合同審議会
 - 1)第38期新規認定医書類審査：6名合格
 - 2)認定医更新申請者7名は書類審査の結果、7名合格
 - 3)認定士更新申請者7名は書類審査の結果、7名合格
- 2.平成27年8月6日 平成27年度 第2回認定医・認定士合同審議会
 - 1)第38期新規認定医審査：6名合格
 - 2)認定医更新申請者2名は書類審査の結果、2名合格
- 3.平成27年11月21日 平成27年度 第3回認定医・認定士合同審議会
 - 1)第39期新規認定医書類審査：1名合格
 - 2)認定医更新申請者8名は書類審査の結果、8名合格
 - 3)認定士更新申請者6名は書類審査の結果、6名合格
- 4.平成28年1月29日 平成27年度 第4回認定医・認定士合同審議会
 - 1)第39期新規認定医審査：1名合格

2) 認定医更新申請者4名は書類審査の結果、4名合格

【今後の予定について】

- ・第40期認定医、第16期認定士試験書類申請受付：平成28年4月28日(木)
- ・第40期認定医、第16期認定士試験書類審査：平成28年6月16日(木)
- ・書類審査結果通知：平成28年6月24日(金)
- ・症例提示および口頭試問：平成28年8月4日(木)

認定という資格は、申請者全てに認証されるものではなく、審査の結果であるところから、資格を授与された会員にとっては大きな栄誉となるものです。これを鑑みても、多くの会員に、認定医あるいは認定士の資格を取得されますようお願い申し上げます。

なお、申請に当たりましては本学会のホームページをご参照頂くか、口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。

今後とも何卒よろしくようお願い申し上げます。

(委員長 宮崎真至)

.....

セミナー委員会

《報告事項》

● 第11回セミナー委員会

(2016年4月 9日(土)・しのぶ歯科インプラントセンター研修室)

● 第1回歯科審美セミナー@富山

【テーマ】『これからの審美歯科を語る』

【会 期】 2016年4月10日(日)

【会 場】 富山県歯科医師会館

【参加者】 会員歯科医師9名、非会員歯科医師16名、会員歯科衛生士3名、非会員歯科衛生士3名、会員歯科技工士1名、非会員歯科技工士14名、その他1名(合計47名)

【プログラム】

『日本歯科審美学会の活動について』

宮内修平(日本歯科審美学会会長)

『審美、機能回復のための咬合診断』

岡崎考亮(柳町岡崎歯科・富山市)

『Anterior Restoration –Forever 21–』

加藤大樹(加藤歯科医院・金沢市)

『The Symmetric Central Incisors–歯肉縁下カンツアに対する臨床的配慮について–』

木林博之(きばやし歯科医院・京都府長岡京市・認定医)

『フルジルコニアの優位性』

樋口常保(Labo ima・富山県滑川市・歯科技工士)

『インプラント周囲組織の診断とマネージメント』

小林祐之(しのぶ歯科インプラントセンター・富山市)

片折浩紀(しのぶ歯科インプラントセンター・富山市・歯科技工士)

『審美性と機能性を考慮した臼歯部コンポジットレジン修復』

中山大蔵(中山歯科医院・金沢市・会員)

『審美修復治療における最近の潮流』

北原信也(ノブデンタルクリニック・セミナー委員)

《今後の予定》

●第2回歯科審美セミナー(6月5日・東京カンファレンスセンター・有明)

●社員総会特別セミナー(6月12日・東京医科歯科大学)

●第3回歯科審美セミナー(11月27日・鹿児島市)

(委員長 有田博一)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

第36回のホワイトニングコーディネーター(以下WC)講習会、認定試験が、1月17日(日)に315名が参加し、梅田スカイビルで開催されました。日本歯科審美学会が法人化されて受講者の減少が危惧されていましたが、今回もキャンセル待ちが出るほどの人気で、今回の認定試験で265名のコーディネーターおよび学会会員が誕生する予定です。

今年度は6月5日(日)の東京を皮切りに、10月2日(日)に福岡、11月27日(日)に大阪、平成29年2月12日(日)に金沢での開催が決定しています。

前回の認定試験までで、すでに1,347名のWCが誕生しています。来年度も全国で4回の開催が予定されていますので、このペースで行けば来年度中には4,000名を超える勢いです。この間、本学会に入会した歯科衛生士の数も400名を超え、今後も会員数は増え続けると思われます。今年8月に札幌で開催されます日本歯科審美学会の学術大会でも、ホワイトニングコーディネーターのためのセミナーが開催される予定です。衛生士の皆さんも奮ってご参加ください。(委員長 椿 知之)



歯科衛生士部門

- 平成28年6月5日(日)／東京カンファレンスセンター有明にて
歯科衛生士対象第2回セミナー
ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験
 - 平成28年6月12日(日)／東京医科歯科大学歯科棟南4階にて
社員総会特別セミナー「IFEDの軌跡、1997京都、そして2017富山へ」
講師は愛知学院大学歯学部保存修復学講座の富士谷盛興先生
事前参加不要、参加費無料
 - 平成28年8月26日(金)～28日(日)／京王プラザホテル札幌にて
第27回日本歯科審美学会学術大会
 - 平成28年10月2日(日)／福岡TKPガーデンシティ博多新幹線口にて
ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験
 - 平成28年11月27日(日)／鹿児島歯科医師会館にて
第3回セミナー
 - 平成28年11月27日(日)／大阪梅田スカイビルにて
ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験
 - 平成29年2月12日(日)／金沢 会場未定
ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験
- 上記のようにたくさん企画されています。詳しくは本学会のホームページをご参照ください。どれも各委員会の先生方が思考を凝らしたもののばかりです。自分のステップアップのために、職場スタッフのモチベーションアップのために、奮ってご参加ください。
(委員 山羽京子)
-

表彰委員会

本委員会の行う事業として「学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞(デンツプライ賞)の表彰を行う」ことを担っております。そこで、直近の表彰についてお知らせいたします。

まず昨年、東京歯科大学水道橋校舎新館(東京都)にて、平成27年11月22～23日に開催された第26回日本歯科審美学会学術大会におけるポスター発表に対し、評議員の記名式投票によって優秀発表賞の選考が行われました。その結果、日野 年澄(日野歯科医院)による「高透過性マルチレイヤードジルコニアを用いた審美修復症例」に対して、平成28年度優秀発表賞(デンツプライ賞)の授与が決定しました。

また、平成27年度優秀論文賞(優秀研究論文賞、優秀臨床論文賞、優秀症例論文賞)の候補者の推薦募集については、平成28年5月31日(必着)を応募締切日といたしました。

尚、平成27年度日本歯科審美学会学会功労賞の募集については、

平成28年5月16日をめぐり、学会発表に功績があったと認められる方をご推薦くださるようお願いいたしました。

今後も、会員の皆様からの各賞に対するご意見・ご推薦・ご応募をお待ちしております。 (委員長 佐藤 孝)

.....

会則検討委員会

まず始めに、政府による激甚災害に指定された熊本地震によって被災された方々に、心からのお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い安穏な生活の回復と罹災地の復興について、お祈り申し上げます。熊本・大分両県には、本学会の正会員A28名、正会員B31名がお住まいになられていらっしゃることもあり、委員一同、身近なものとして察しております。また本学会では罹災なされた正会員を対象に“年会費減免等”の対応を図っております。申請ご希望の方は、学会事務局までご確認くださいませ幸いです。

さて、時の流れは速いもので、日本歯科審美学会は昨年4月1日設立年月日・登記をもって、“一般社団法人 日本歯科審美学会”としての活動を開始しました。会則検討委員会では、会員各位の活動を含め、委員会や学会としての事業が円滑かつ適正になされるよう、“律格”の領域から支援する役目を仰せつかっています。したがいまして、直近の当委員会事業としては、法人格を得た本学会の根幹的“定め”である「定款」に整合した規則・細則等への改訂作業を行い、常任理事会・理事会・社員総会へ上程し、承認を得たものについては周知を図る務めを担っております。

本稿が皆様のお目に留まる頃は、法人化がなされた学会として初めての社員総会(6月12日開催)の審議を経た“律格”によって、会員各位はじめ委員会の活動がこれまで以上に有益なものとなっておりますよう、期待しております。

(委員長 奈良陽一郎)

.....

ホームページ・ニュースレター委員会

2016年夏号のNLはいかがだったでしょうか。HP/NL委員会は、学会の広報活動の一環として、日本歯科審美学会のホームページ管理と年二回のニュースレターの編集の発行を行っています。ホームページからはセミナーやホワイトニングコーディネーター資格などの参加申し込みや認定医・認定士の申し込み方法など各種情報をダウンロードできますので、どうぞご活用ください。ホームページやニュースレターへのご要望、ご批評など、どんなことでも結構ですから、皆様からのメッセージをお待ちしております。一度、www.jdshinbi.net/にアクセスしてみてください。 (委員長 橋場千織)

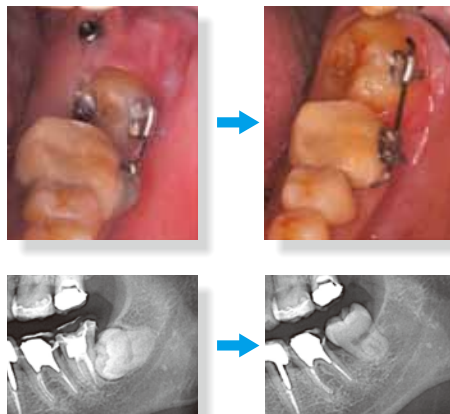
トピックス

歯科矯正用アンカースクリューの進化

はしば矯正歯科 橋場千織

補綴用インプラントは多数の会社から多様な製品がありますが、矯正治療のためだけに使用するインプラントというものがあります。正式には歯科矯正用アンカースクリュー(以下TADと略す)と称します。普通のインプラントとは異なり、TADは目的を達成したら除去してしまう運命です。インプラントはオッセオインテグレーションしないと失敗ですが、TADは治療が終了したら除去しないとなりませんので、オッセオインテグレーションしては困ります。あくまでメカニカルな接合で、簡単に除去可能だが歯の移動中には脱離しない強固な接合が必要という矛盾した条件を満たさなくてはなりません。

TADが厚生労働省の認可を受けて、多くの会社からいろいろな工夫のもとに多数の製品が発売されています。代表的な製品にデュアルトップオートスクリュー(プロシード)、D-PAS JP スクリュー、ISA Advance(バイオデント)、アブソアンカーII(松風)、ベクターTAS(カボデンタルシステムジャパン)、i-station(クラウンジュンコウノ)などがあります。TADの出現は矯正治療におけるエポックメイキングで、矯正治療に必要なフォースシステムを激変させました。固定源の心配なく治療ができ、従来では治療が難しかったオープンバイト、反対咬合や上顎前突症等の患者に画期的な治療結果をもたらしてくれます。また補綴前処置のためのMTMや倒れている歯を1本だけ起こすなど全顎的な矯正装置を使用せずに治療可能です。TADは応用範囲が非常に広く、利便性の高い製品ですので、先生方も是非お試しください。



TADだけで牽引することができ、最小限の装置で第3大臼歯をアップライトさせた。

トピックス

審美歯科と口腔内スキャナー

大阪大学大学院歯学研究科 若林一道

1987年に世界で最初に歯科に導入された CAD/CAMシステムCerec 1 (Siemens, ベンスハイム, ドイツ)は、CCD カメラを用いて、直接、口腔内の支台歯や隣在歯を光学的にスキャンするシステムでしたが、その後、広く市場に広まったCAD/CAMのほとんどは作業用模型を計測するものでした。

CAD/CAMシステムや歯科用CTがデジタルデンティストリーとして大きな役割を果たしてきましたが、さらなる発展として、近年では口腔内スキャナーが取り上げられるようになりました。口腔内スキャナーはCCDカメラを備えた部分を口腔内に挿入し、画像を撮影して口腔内のデジタル計測を行います。計測方法として静止画タイプあるいは動画タイプがありますが、動画タイプの方が一般的に早く計測が可能です。計測対象は、単冠から歯列全体、インプラントの印象や、マウスピースを用いた矯正装置の製作など幅広い用途で使用できます。

印象材を使う従来の印象と比較すると、印象材が不要である、画面上で印象を確認しながら作業を行える、技工所へのデータ転送が瞬時に行える、模型ではなくデジタルデータで保存が可能である、スキャンニングと同時にシェードテイキングが行えるなど、多くの利点を有しています。問題点として、歯肉縁下の印象が行いにくいことや、信頼性や精度は従来の印象ほど高くないことが挙げられますが、臨床上問題のない精度を有しています。また、日々、小型化、高速化、高画質化、低価格化されており、使い勝っても向上しています。CAD/CAMの普及や審美歯科治療の要望により、鋳造からレジンやセラミックのミリング加工へと技工作業が変化している歯科界において、今後はこのような口腔内スキャナーが普及していくものと考えられます。



3Shape TRIOS



3M TrueDefinition



I-Tero handpiece



ヨシダ トロフィー

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒113-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソスミスクライン・コンシューマーズヘルスケア・ジャパン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>



クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>



サンメディカル株式会社
〒624-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



スリーエムヘルスケア株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



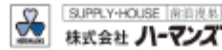
株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
<http://panasonic.co.jp/hcc/phc/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
茗葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

株式会社SCIZ

kuraray

Noritake

NEW

管理医療機器
歯科用セメントキット

パナビア® V5

医療機器認証番号：226ABBZX00106000

高審美

色調安定性に優れた
5色のセメントペースト

高接着

パナビア®F2.0の
3倍の象牙質接着を実現*

シンプルな構成

2液だったセルフエッチング
プライマーが1液に



※ 牛歯象牙質に対する引張接着強さ



●パナビア® F2.0 管理医療機器 歯科接着用レジンセメント
医療機器認証番号：224ABBZX00029000

製造販売元

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28
クラレノリタケデンタル インフォメーションダイヤル
☎0120-330-922

販売元

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
お客様相談センター：0800-222-8020

●「パナビア」及び「MDP」は株式会社クラレの登録商標です。

 **PENTRON JAPAN INC.**
Glass Fibre Reinforced Core Build-up System

しなやかに、そして美しく



症例写真 [BUILD-IT FR with Fibrekor Post] ご提供: 原宿デンタルオフィス 山崎長郎 先生

FibreKor® Post ファイバーコア ポスト

FibreKleer® Post 4X™ ファイバークリア ポスト 4X



ビルドイット FR

Build-It® FR™

Build-It CoreForm ビルドイット コアフォーム



口腔内で支台築造体を製作する際に使用する透明なキャップです
前歯部から臼歯部まで計6種類をご用意しています

ファイバーコア ポスト	管理医療機器 認証番号: 222AGBZX00195000号
ファイバークリア ポスト4X	管理医療機器 認証番号: 222AGBZX00171000号
ビルドイット FR	管理医療機器 認証番号: 21400BZY00278000号
ビルドイット コアフォーム	一般医療機器 届出番号: 13B2X00022000008号

製造販売元: **ペンترون ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 5F・6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320

オフィスホワイトニングライト
ブリリカ ビアンコ
BRILLICA bianco



専用開口器に
装着するだけ

コンパクトタイプで場所をとらない

照射位置の調整不要

様々な薬剤に対応、高い光出力

安心・信頼の日本製!!



開口器装着型 LEDホワイトニングライト
【ブリリカ ビアンコ】

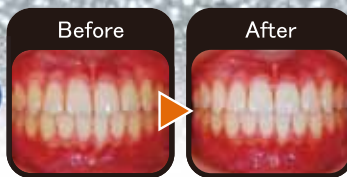
医療機器

寸法: W141×D85×H43mm、質量: 約100g
医療機器届出番号: 14B2X00036000008
(一般医療機器・特定保守管理医療機器)

定価: 380,000 円

一般的名称: 歯面漂白用加熱装置 販売名: ブリリカ ビアンコ

従来の
ホワイトニングより
簡単に、効果的に!



株式会社 **東京技研**

【東京本社】〒158-0087 東京都世田谷区玉堤 1-25-13 tel: 03-3703-5581
【横浜工場】〒224-0023 横浜市都筑区東山田 4-42-37 tel: 045-591-4441

URL: <http://www.tokyogiken.com> e-mail: TG@tokyogiken.com

ブリリカビアンコ

検索



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／宮内 修平

編集／一般社団法人日本歯科審美学会

ホームページ・ニュースレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/